



2025年12月期 第3四半期 決算説明資料

2025年11月13日

代表取締役 社長執行役員 伊藤 正

Copyright © GMO Internet, Inc. All Rights Reserved.

本日はお集まりいただきありがとうございます。
代表取締役 社長執行役員の伊藤でございます。
これよりGMOインターネット株式会社
2025年12月期 第3四半期 決算説明会を開始いたします。

1. 2025年第3四半期 決算サマリ

2. 成長戦略・各分野の進捗と施策

3. 株主還元について

4. 参考資料

2

本日のアジェンダはご覧の通りです。
決算の状況や成長戦略にそった各分野の進捗について
皆様にお伝えいたします。

1. 2025年第3四半期 決算サマリ

2. 成長戦略・各分野の進捗と施策

3. 株主還元について

4. 参考資料

それでは、まず第3四半期の決算サマリです。

	2025年Q3 累計	通期予想	通期進捗率
売上高	583億円	750億円	77.8%
営業利益	56.3億円	80億円	70.4%
経常利益	56.5億円	78億円	72.5%
純利益	40.1億円	50億円	80.3%

- ・通期予想に対し、**想定通り**
- ・営業利益は上期進捗40.8%
Q3で30%進捗し70.4%

2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

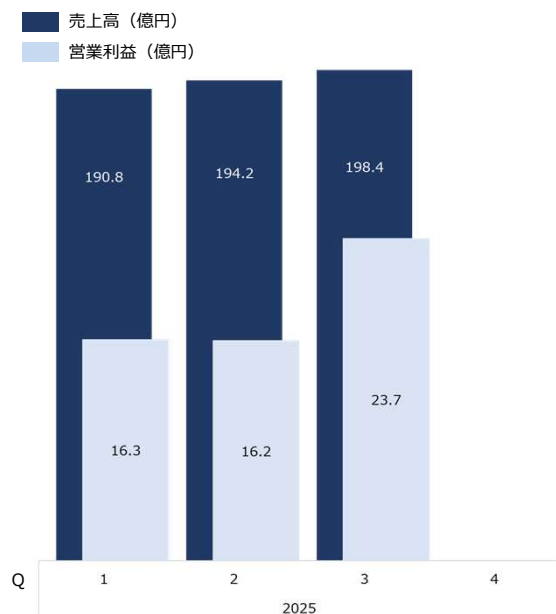
4

連結全体の業績状況です。
第3四半期の売上高は583億円、
営業利益は56億3000万円、
経常利益は56億5000万円、
純利益は40億1000万円となりました。

既存事業／新規事業ともに堅調に推移しており、
通期業績予想に対する進捗は想定通りです。

上期の営業利益進捗はおよそ40%でしたが、
第3四半期では約30%、通期では70%の進捗となりました。

広告事業の落ち込みの回復や、
GPUクラウドが投資フェーズから回収フェーズへうつり、
利益の伸びが加速しています。
詳細については後ほどご説明いたします。



売上高 QoQ +4.2億

増加要因

- ・ GPUクラウド事業において売上が増加
- ・ ドメインの大口登録により一時的に売上増

営業利益 QoQ +7.5億

増加要因

- ・ GPUクラウド事業 堅調に進捗
- ・ インターネット接続事業利益増
- ・ 広告事業のコスト構造見直し、利益回復

2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

5

続いて、四半期ごとの売上高・営業利益の推移についてご説明します。
売上高は前四半期からプラス4.2億円の198億円、
営業利益はプラス7.5億円の23億7000万円となりました。

ドメインの大口契約やレンタルサーバーが堅調に推移したことにより、売上は増加をしています。

営業利益に関しては、
先ほどお伝えした広告事業の改善や
GPUクラウド事業が投資先行期間を抜けつつあること、
また既存事業であるインターネット接続事業の利益増加などにより、大きく増加をしています。

連結業績サマリ（Q3累計・セグメント別）

売上高

営業利益

インターネットインフラ事業

488億円 60.1億円

インターネット広告・メディア事業

99.3億円 1.1億円

その他及び連結消去

▲4.3億円 ▲5.0億円




2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

6

続いて、セグメント別の状況についてです。
 こちらは短信に記載されているセグメントに分けております。

連結業績サマリ（Q3累計・セグメント内訳）

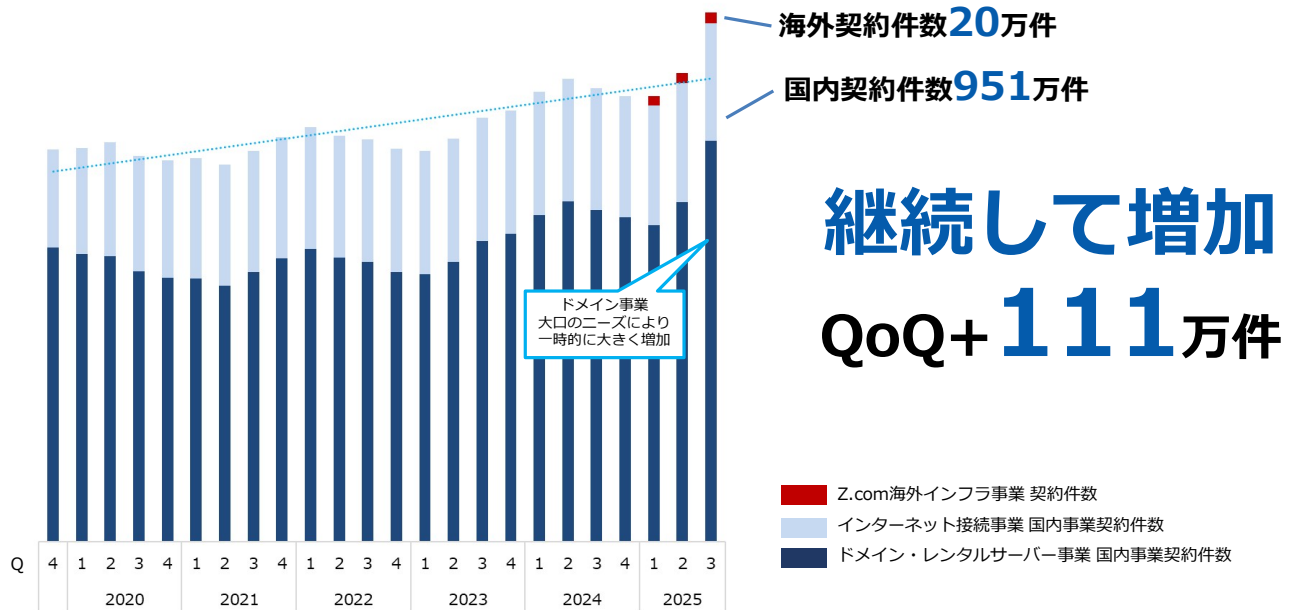
GMO INTERNET

			売上高	営業利益
インターネット インフラ事業	ドメイン・ レンタル サーバー事業	  GMO GPUクラウド	150億円	33.9億円
	インターネット 接続事業	 GMO BIZアクセス	312億円	60.1億円
	インフラ その他	海外事業 インフラ事業 共通費等	25.7億円	▲33.9億円
インターネット 広告・メディア 事業	インターネット 広告・メディア 事業	GMO NIKKO GMO INSIGHT	99.3億円	8.2億円
	広告・メディア その他	広告事業 共通費等	- 億円	▲7.0億円
その他及び連結消去		全社共通費等 連結消去	▲4.3億円	▲5.0億円

2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

7

セグメントの内訳をさらにブレイクダウンしたものがこちらです。
各事業の状況はご覧の通りです。
こちらの前年比較や推移については、後ほどご説明させていただきます。



2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

8

こちらは各事業における契約件数の推移です。
第3四半期においては、国内の全事業を合算した契約件数が951万件となりました。

前四半期より大幅に増加をしておりますが、
これはドメイン事業において大口のお客様の契約があったことから、一時的に件数が増加しているためです。

当社の岩盤収益基盤を支えるKPIとして、堅調に増加をしております。

1. 2025年第3四半期 決算サマリ

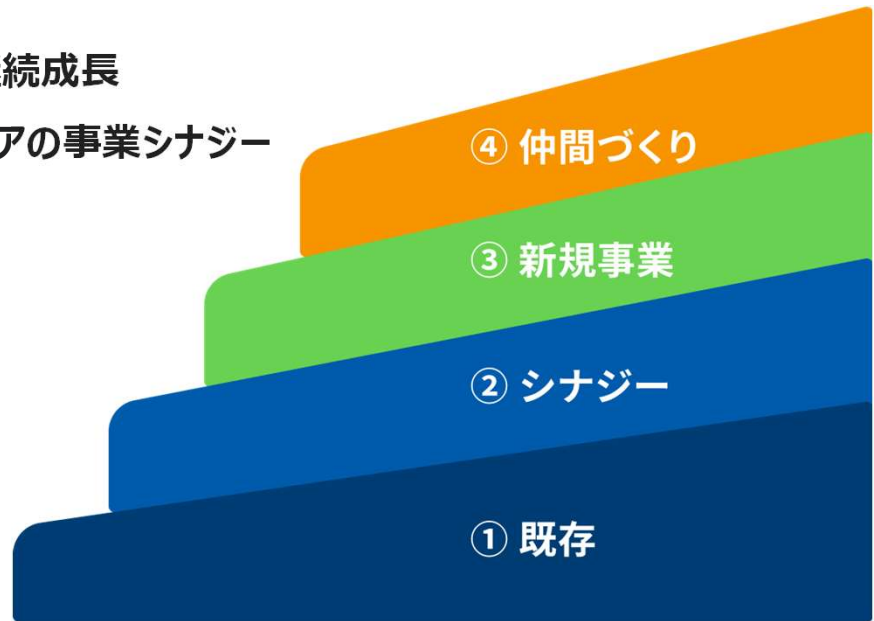
2. 成長戦略・各分野の進捗と施策

3. 株主還元について

4. 参考資料

それでは続いて、当社の成長戦略に沿って
各分野の進捗状況および施策についてご説明いたします。

- ① 既存事業の安定・継続成長
- ② インフラ×広告メディアの事業シナジー
- ③ 新規事業
- ④ 仲間づくり (M&A)



2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

10

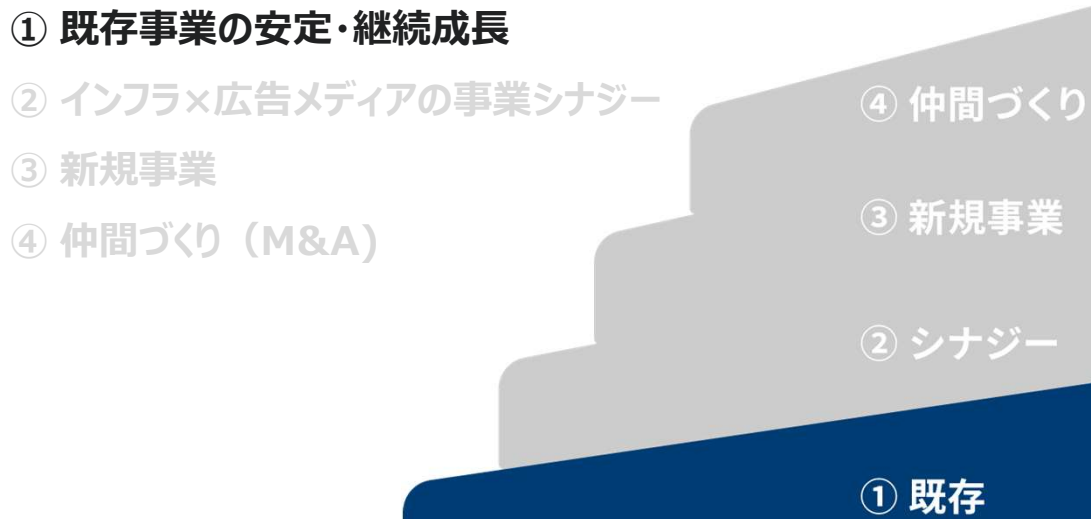
こちらの図は今後の成長戦略のイメージです。
改めて内容についてご説明をさせていただきますと、この成長戦略は4つのカテゴリで構成しています。

1つめに、強固な収益基盤であるインターネットインフラ事業などの既存事業を、安定的に継続成長させていきます。
これは当社のベースとなるところです。

2つめに、インフラ事業と広告メディアの事業シナジーにより 既存事業の更なる成長を見込んでいます。

3つめに、GMO GPUクラウドなどの新規事業を成長ドライバーと捉えております。

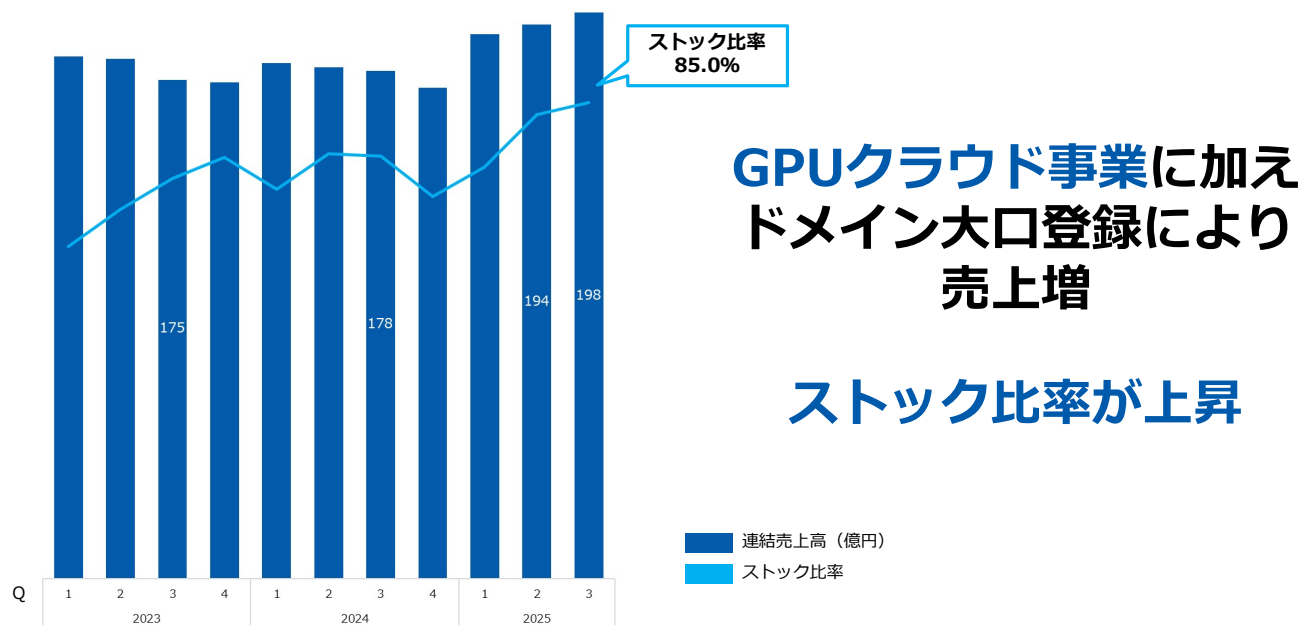
4つめに仲間づくりへの投資によって、利益規模の拡大と企業価値の向上を図ります。



2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

11

まずは既存事業の状況についてご説明させていただきます。



**GPUクラウド事業に加え
ドメイン大口登録により
売上増**

ストック比率が上昇

※2023-2024年の数値については現体制であったと仮定した場合の概算数値を記載しております

2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

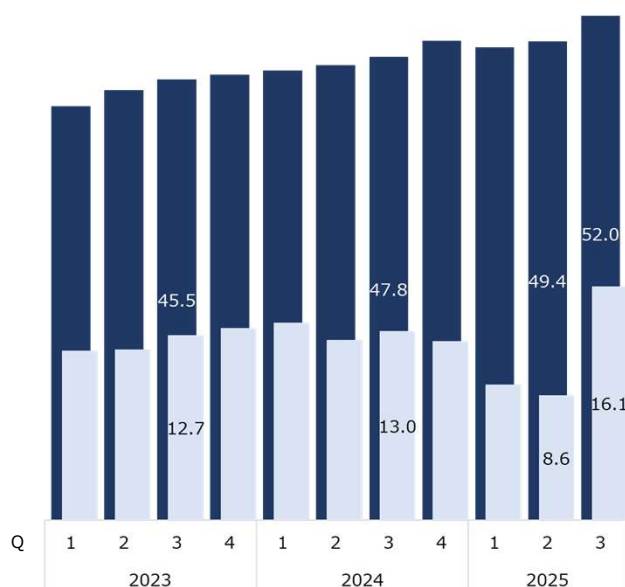
12

契約件数とあわせて、既存事業の収益基盤の指標としているストック比率です。

第3四半期の売上高におけるストック比率は85%となりました。

GPUクラウド事業の成長およびドメイン事業における大口契約によって売上が増加し、
ストック比率が上昇しました。

引き続き高い比率をキープしており、当社の安定的な収益基盤に継続的に寄与しています。



**GPUクラウド事業は
投資回収フェーズへ
(単月黒字化達成)**

**既存事業も堅調
売上・利益ともに増加**

■ 売上高 (億円)
■ 営業利益 (億円)

※2023-2024年の数値については現体制であったと仮定した場合の概算数値を記載しております

2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

13

続いて事業ごとの状況についてご説明いたします。

まずドメイン・レンタルサーバー事業の状況です。
売上高・営業利益についてグラフにまとめております。

売上高については継続的に成長しています。

また、営業利益についても大きく増加し、前年を上回る着地となりました。

既存のドメイン・レンタルサーバーにおける売上が好調であったことに加え、これまで投資が先行していたGPUクラウド事業の売上が増加・単月黒字化し、投資回収が進み始めたことが主な要因です。



ホームページ構築を

AIエージェントがサポート

- ✓ 瞬時にさまざまなデザインを提案
- ✓ HTML/CSSの専門知識不要
- ✓ PC、スマートフォン等マルチデバイスに対応

2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

14

ドメイン・レンタルサーバー事業のトピックスを2件ご紹介いたします。

お名前.comが提供している「AIホームページパック」は、専門知識がなくても本格的なホームページを構築・運用できる画期的なサービスです。

AIにテキストで指示を出すだけで、デザインの提案から文章・画像の生成までをサポート、短時間でオリジナルサイトが完成します。

「早く・簡単に・低コストで」というニーズに応えられるサービスとなっています。

ConoHa WING
by GMO



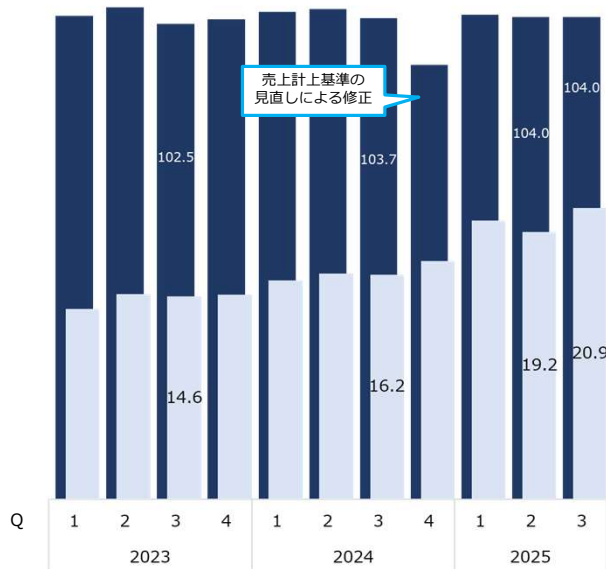
設立間もない 法人のお客さまを 金融とITサービスで 強力サポート

2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

15

続いて国内最速レンタルサーバー「ConoHa WING」の事例を紹介します。
こちらはGMOあおぞらネット銀行との連携により、
法人口座を新規に開設されたお客様を対象に、
レンタルサーバーの利用料を「最大12ヶ月無料」でご利用いただける取り組みを
開始しました。

法人設立時に必要な機能をGMOインターネットグループとしてワンストップで
提供します。



商材ミックスの改善による
利益率改善方針を継続

売上水準は現状を維持し
利益面では継続的に増加

※2023-2024年の数値については現体制であったと仮定した場合の概算数値を記載しております

2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

16

つぎに、インターネット接続事業です。
売上においては横ばい傾向ですが、
商材ミックスの改善による利益率改善を継続、
営業利益に関しては引き続き増加をしています。



WiMAX+5G
ホーム/モバイルルーター

新規契約・他プロバイダからの
乗り換え好調



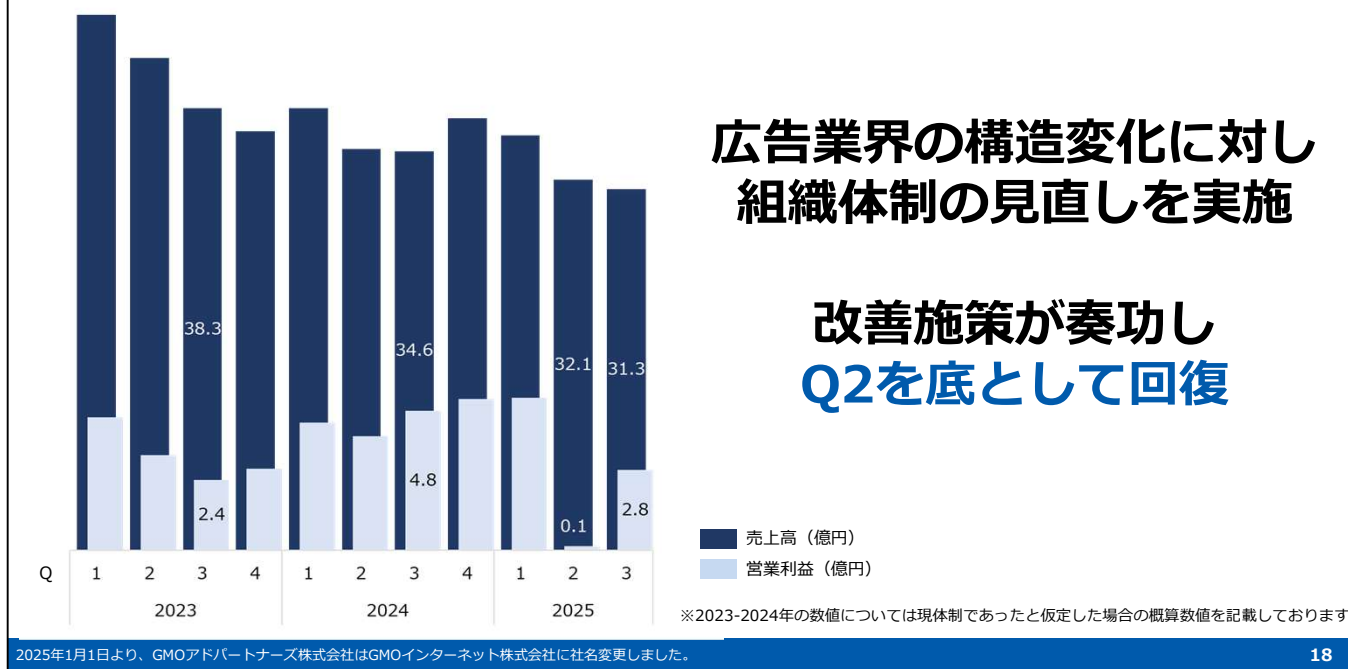
WiMAX新規契約数
YoY+ **128%**

2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

17

インターネット接続事業ですが、前四半期に引き続き、WiMAXのホームルーターやモバイルルーターが好調です。
提供価格や回線品質が評価され、他プロバイダからの転入が進んでおります。

全体の新規契約数については前年対比128%と大きく増加をいたしました。



続いてインターネット広告・メディア事業の状況です。
前四半期では期末需要落ち着きや、
業界全体として広告運用のAI化の流れが進み代理店を通さない自社運用がすすんだことの影響が大きく
売上・利益ともに減少をしておりました。

業界の構造変化に対応するため、
組織体制の見直しを実施したことにより、
利益に関しては前四半期より回復いたしました。

今回行った施策の内容や成果、今後の方針については後ほど詳しくご説明いたします。

GMO NIKKO



**WEBサイトの
ユーザー行動やアクセス状況を
多角的に分析できる
競合分析ツールを
月額料金で提供**

2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

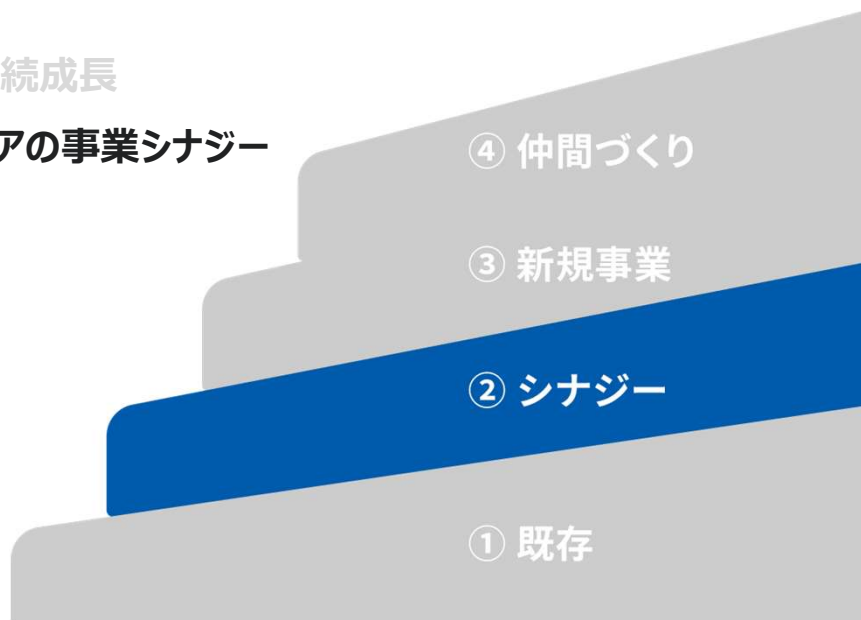
19

こちらは広告メディア事業で新たにリリースした
「マーケティングインサイト byGMO」です。

このツールを使うことで、競合のWEBサイトのユーザー行動やアクセス状況を
様々な角度からリアルタイムで確認でき、
そしてその結果をすぐに自社の広告施策に反映することが可能となります。

マーケターの方々が本当に必要とする機能だけを厳選し、月額料金で提供しています。

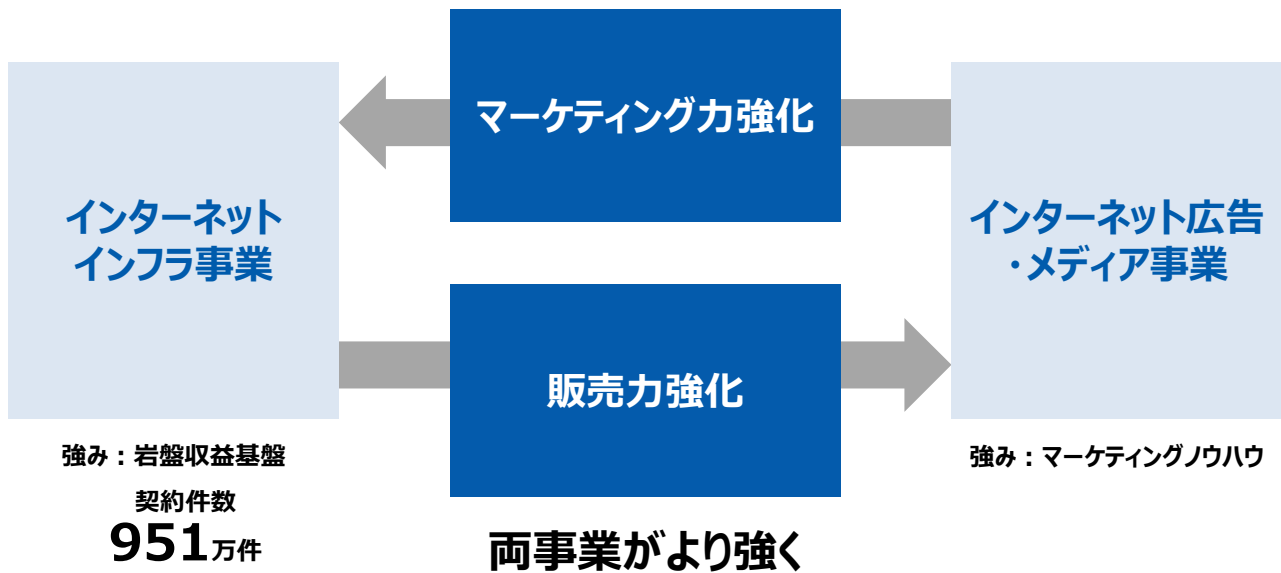
- ① 既存事業の安定・継続成長
- ② インフラ×広告メディアの事業シナジー
- ③ 新規事業
- ④ 仲間づくり (M&A)



2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

20

それでは続いて、インターネットインフラ事業とインターネット広告・メディア事業のシナジーに関する取り組み状況についてご説明いたします。



2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

21

こちらは2月の決算説明会から継続してご説明している図ですが、インフラ事業・広告メディア事業間のシナジーをまとめております。

広告メディア事業のマーケティング力をインフラ事業の新規顧客獲得に活用するほか、インフラ事業の岩盤収益基盤のお客様に対し、広告メディア事業の商品を販売していくことで売上の更なる拡大が可能であると考えています。

先ほどご説明の広告・メディア事業の足元の状況を鑑み、インフラ事業のマーケティング力強化、そして組織の最適化に向けた施策を実施致しました。

今回実施した施策

広告事業→インフラ事業
50名の配置転換

インフラ事業の
販促・制作・開発力強化

成果と現状

広告事業のコスト構造改善
利益面は大きく回復

利益コントロールを継続
事業構造を見直し
ストック事業へ転換

岩盤収益基盤の強化

2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

22

こちらが今回実施した施策の内容とその成果です。

広告事業からインフラ事業へ50名の配置転換を行い、インフラ事業のマーケティング力やクリエイティブの強化を図るとともに、開発組織を統合・効率化し、岩盤収益基盤のさらなる強化とストック収益の増加を進めてまいりました。

その結果として、広告事業のコスト構造は改善し、利益面は大きく回復をいたしました。

利益コントロールを進めるとともに、中長期的には事業構造の見直しを行い、ストック事業を提供する業態へ転換を進めていきたいと考えております。

ビジネスコンシェルジュ

powered by



ビジネス効率化への近道を
ドメイン国内シェアNo.1のお名前.comが運営するDX支援サイト

NEW!

コンサルティング業界におすすめの採用管理システム9選 | 選び方も解説
2025/11/06

NEW!

アパレル業界におすすめの採用管理システム8選 | 選定ポイントも解説
2025/11/06

NEW!

ベンチャー企業におすすめの採用管理システム3選 | 選び方も解説
2025/11/06

**広告メディア事業の
メディア運営ノウハウと
お名前.comの
顧客基盤を活用**

2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

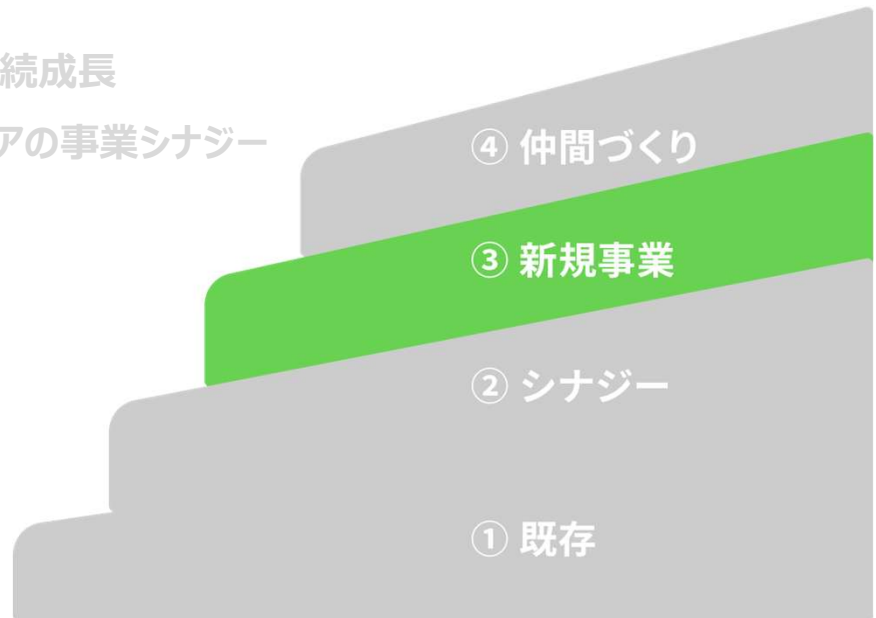
23

また、今回の組織再編によるシナジーの一例をご紹介します。

こちらは「ビジネスコンシェルジュ」というサービスです。
お名前.comの中心的なお客様である個人事業主や中堅中小の法人向けに、
DX事例やツールを紹介しています。

広告メディア事業におけるメディア運営や広告収益の獲得ノウハウと、
お名前.comの顧客基盤・媒体力を活用して運営をしています。

- ① 既存事業の安定・継続成長
- ② インフラ×広告メディアの事業シナジー
- ③ **新規事業**
- ④ 仲間づくり (M&A)



2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

24

続いては、新規事業GMO GPUクラウドの状況についてご説明させていただきます。



Q3内単月黒字化
Q4フル稼働に向け順調
NVIDIA HGX B300
国内最速で年内提供予定

2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

25

昨年11月の事業開始より、立ち上げ・投資期間として費用が先行しておりましたが、稼働率が上がってきたことで、単月ではありますが黒字に転じています。第4四半期のフル稼働に向け、足元の営業進捗は順調です。

また前四半期にすでに発表しておりますが、B300を搭載したサーバーを提供予定です。年内の国内最速提供に向け、準備を進めております。

推論から大規模学習まで最適な環境を提供

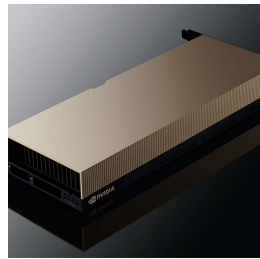
Conoha VPS
by GMO

GMO GPUクラウド



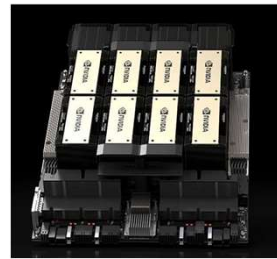
NVIDIA L4 GPU

推論



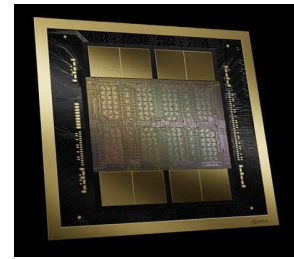
NVIDIA H100 GPU

中小規模学習・推論



NVIDIA H200 GPU

大規模学習



NVIDIA B300 GPU

大規模学習・大規模推論

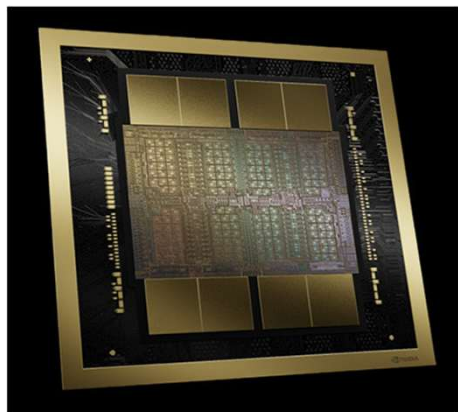
2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

26

こちらは、現在当社が提供している、GPUチップのラインナップです。
現在はNVIDIAのL4からH200までを提供しており、ここにB300が加わる形となります。

中小規模から大規模の学習までのニーズを満たすとともに、
推論におけるスペックもB300の投入により大幅にアップし、GPUサーバーに対する多様なニーズをカバーできるものと考えております。

B300は GPUメモリ、演算性能 共にH200から向上 推論のための FP4 演算精度も備えた次世代のGPU



	スペック(NVIDIA H200比)
GPUメモリ	288GiB(204%)
メモリ帯域幅	8.0Tib/秒(176%)
FP4 性能	新たに対応
FP8 Tensor Core 性能	2.25倍に性能向上

2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

27

B300について、もう少し詳しくご説明します。

H200との性能差でご説明しますと、メモリ容量が約2倍に増えて、より大きなAIモデルを動かせるようになりました。さらにメモリ帯域幅が増加したことで、データの処理スピードも速くなり、AIがより短時間で答えを導き出せるようになります。

また、新たに“FP4”という機能に対応したことで、より早く・少ない電力で推論処理を実効できるようになりました。

結果として同じ電力でもおよそ2.25倍の演算性能を発揮でき、AI開発や運用コストの削減に直結します。

このB300を活用することで、大規模学習がさらに効率的に行えるだけでなく、今まで以上に推論用途のニーズも捉えることが出来ると考えています。

9/25 GMO AI・ロボティクス大会議&表彰式 を開催

2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

28

続いて第3四半期のGPUクラウドに関するトピックスです。
9月25日、GMOインターネットグループで「GMO AI・ロボティクス大会議&表彰式」を開催しました。
私も登壇し、GMOインターネットグループのAIの取り組みとGPUクラウドについてお話をいたしました。

GMO AI・ロボティクス大会議&表彰式でのビデオメッセージ

<https://www.youtube.com/watch?v=NdeUji76KzQ&t=2150s> より引用

NVIDIA ジェンソン・フアン CEO

今は歴史的な時です。**AIはすべての産業と科学分野を変革**します。その変革の中心にあるのが、新たな種類のデータセンター「**AI ファクトリー**」です。**GMOは「B300 (Blackwell)」によって次のステージに備えています**。Blackwellが支えるAIファクトリーは科学・産業・ロボティクスなど国家的なニーズに応える存在となります。NVIDIAはGMOがプラットフォームを拡張しこの新しい時代で**日本を変革する取り組みにおいてパートナーであることを誇りに**思います。

2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

29

この「GMO AI・ロボティクス大会議&表彰式」においては、NVIDIAのジェンソン・フアン CEOにもビデオ登壇をいただきました。
GMOインターネットグループのAI・ロボティクスへの取り組みや、当社のGPUクラウドにおけるB300の提供についても、期待をお寄せ頂いております。

ご登壇頂いた皆様（一部）



早稲田大学 教授
一般社団法人AIロボット協会
理事長
尾形 哲也 様



チューリング株式会社
代表取締役CEO
山本 一成 様



NVIDIA
日本代表 兼 米国本社副社長
大崎 真孝 様

2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

30

その他にも当社のお客様である「AIロボット協会の尾形理事長」や「チューリングの山本CEO」「NVIDIAの大崎日本代表」など、名だたる皆様にご登壇を頂きました。

AIにおけるインフラ基盤の構築とAI産業へのサポートに向け、引き続き尽力してまいります。



最先端のAI関連技術を生み出し、AI研究の最前線を切り拓く
研究開発企業
大規模言語モデルの研究開発などにGMO GPUクラウドを使用



Sakana AI株式会社 David Ha CEO

大規模分散学習では、単にGPU性能が高いだけでなく、通信・ストレージ・ジョブ管理まで含めたソフトウェアスタックの完成度が、研究スピードを大きく左右します。GMO GPUクラウドは、その点において極めてバランスが良く、私たちのワークロードに必要な環境が事前に備わっていたため、構築作業に時間を割かれることなく本来の研究に集中することができました。また運用支援にあたる技術者の知識と対応力は非常に頼もしく、問題発生時も原因の切り分けから解決までが迅速で、安心して大規模実験を継続できます。加えて、Grafana等を用いたモニタリング基盤により、GPUのメトリクスをリアルタイムに把握し、モデル学習効率を常に最適化できる点も高く評価しています。GMO GPUクラウドが、これからも日本国内のAI開発基盤として発展し、研究・産業双方の成長に寄与することを願っています。

2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

31

また、本日発表をさせていただきましたが、日本発のユニコーン企業としてAI先端技術を有する「Sakana AI様」に大規模言語モデルの研究開発を目的として、GMO GPUクラウドをご使用頂くことになりました。

こちらは、デイビッド・ハCEO よりいただいたコメントです。
高性能なクラウドサービスとしてのご評価のみならず、多様なソフトウェアスタックや、不足するインフラエンジニアのニーズに寄り添った環境構築面、サポート体制なども高くご評価いただきました。

世界のGPUクラウド事業者の国際評価「ClusterMAX™2.0」 国内初の「Silver」評価を獲得

SemiAnalysis GPU Cloud ClusterMAX™ Rating November 2025	
Ranking	Neocloud
PLATINUM	CoreWeave
GOLD	NEBIUS, Azure, Crusoe, FluidStack
SILVER	together.ai, Lambda, AWS, Scaleway, Cirrascale, VULTR, VOLTAGE PARK, GCORE, firmus, GMO GPUクラウド , TENSORWAVE
BRONZE	Hyperstack, Shadeform, neysa, STN, GMI, RunPod, Atlas Cloud, PRIME Intellect, CUDO COMPUTE, QUBRID, latitude.sh, Lightning, verda, IBM Cloud, DigitalOcean, HOT AISLE, BUZZ HPC, vast.ai
Underperforming	SHARON, HYDRA, FarnGPU, WHITEFIBER, deepinfra, dstack, FolioBlueDot AI, Hyperbolic, SPINNET, HETZNER, CLOUDEX, Massed Compute, Exabits, SESTERCE, ESE Cloud, OVHcloud, Aethir, akash, salad, MITHRIL
Not Recommended	Unavailable: NSCALE, C942, HUMAIN, CORTEX, Highrise, BluSky AI, ARC COMPUTE, TELUS, YOTTA, firebird, Alibaba Cloud, HEBASPERO, BITEK, RunGun Cloud, FPT CLOUD, backend, NAVER, Indosat, SAKURA, YOTTA, neocloud, evroc, greencloud

出典：<https://newsletter.semianalysis.com/p/clustermax-20-the-industry-standard>

2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

32

そして先日11月6日に発表された「ClusterMAX」というGPUクラウド事業者の国際評価では
国内初のシルバー評価を獲得しました。

これは半導体やAIインフラ分野の独立系調査機関であるSemiAnalysisによるもので、
世界中のAI事業者・クラウド事業者のベンチマークとして注目されている評価です。

昨年度取得したトップ500、グリーン500に続き、
GMO GPUクラウドの性能がAWS、Google Cloud 同等に世界的に評価されたものと自負しております。

「IOWN APN」を活用した分散型データセンターの共同実証開始

- ✓ **GPUとストレージ間の遠隔利用
(東京⇔福岡)の技術実証を開始**
- ✓ **AIリソースの最適配置
学習データの保管に関する
地理的制約の解消を目指す**

IOWN : Innovative Optical and Wireless Network
NTTの次世代の通信・情報処理基盤

2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

33

続いて、NTT東日本様、NTT西日本様、QTnet様と共同でIOWNを活用した「次世代分散型AIインフラの技術実証」の開始を発表しました。

本実証では高速・低遅延の次世代通信基盤「IOWN APN」を活用し、福岡に設置した「GMO GPUクラウド」のAIサーバーと、東京に設置したストレージを接続し、遠隔利用時の性能を検証するものです。

これは、IOWN APNを用いた「GPUとストレージ間の県をまたいだ遠隔の接続」としては初の取り組みとなります。

将来的にAIリソースの最適配置、学習データの保管に関する地理的制約の解消を目指しています。

投資実績 / 計画

- 2023/12 ○ NVIDIAパートナープログラム参画
- 2024/ 2 ○ NVIDIA H200搭載GPUサーバー
約**100億円**の投資を公表
- 2024/ 4 ○ 経済産業省「クラウドプログラム」供給確保計画の
認定取得。最大**19.25億円**の助成予定を公表
- 2024/11 ○ GMO GPUクラウドサービス開始
- 2025/ 3 ○ 追加ストレージへ**2億円**を投資
- 2025/ 5 ○ H200GPU→256基
15億円を追加投資（5/14発表）
- 2025/ 8 ○ B300 GPU搭載GPUサーバー25台へ**22億円**を投資
- 2025年末～ ○ B300 追加投資分**25台** 順次稼働予定

**Q2から投資計画の
更新はなし**

**B300の年内稼働に向け
準備を進行**

B300への投資に変更
（=H200追加購入なし）

2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

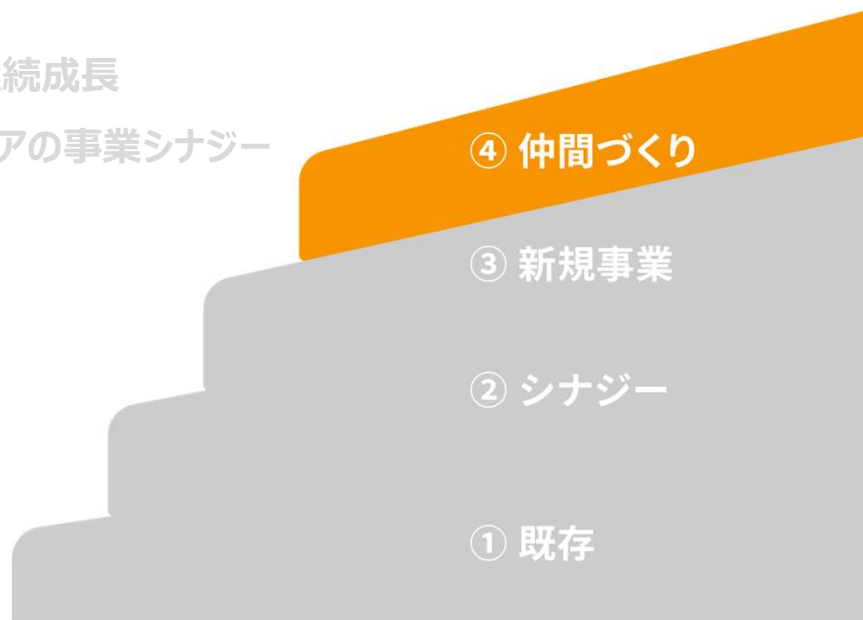
34

こちらはGMO GPUクラウドの投資計画の一覧です。
前四半期から投資計画のアップデートは特段ございません。

先程もお伝えしましたが、B300の年内稼働に向けた準備を着々と進めております。

今後も最新のAI計算基盤の提供と、お客様のニーズに応じた柔軟なクラウド環境の構築により、
日本のAI産業に欠かせないクラウドサービスとして、イノベーションの創出に貢献してまいります。

- ① 既存事業の安定・継続成長
- ② インフラ×広告メディアの事業シナジー
- ③ 新規事業
- ④ 仲間づくり (M&A)



2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

35

つづいて仲間づくり、一般的に言うM&Aの状況につきましてご報告させていただきます。

積極的仲間づくり（M&A）で成長加速



テーマ

- ・ 既存事業のシェア拡大
- ・ スtock型商品の強化
- ・ グループ内の組織再編

2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

36

こちらは2月にお話した今後の仲間づくりに関するテーマです。
今後もテーマにそった仲間づくりをすすめていきます。

インフラ事業・広告事業の更なるシェアアップ、
岩盤収益がさらに強化されるストック商材の仲間づくり、
またグループ内の再編といったテーマをもとにご一緒できる仲間を探してまいります。

テーマ	進捗状況
・ 既存事業のシェア拡大	▶ 対象会社へのコンタクトや 仲介会社との面談等 継続的に実施
・ ストック型商品の強化	
・ グループ内の組織再編	▶ 広告事業内の周辺領域事業を グループ会社 (3695 : GMO-PP) へ移管

2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

37

こちらは当社の仲間づくりにおける3つのテーマと、それぞれのテーマに応じた進捗状況です。

既存事業のシェア拡大・ストック型商品の強化については、対象となる会社へのコンタクトや、仲介会社との面談などを継続的に実施しています。

またグループ内の組織再編については、売り手としてはありますが、広告事業における周辺領域の事業を、グループ会社であるGMOプロダクトプラットフォーム株式会社へ移管いたしました。

GMOインターネットグループ内において、よりシナジーの高い体制を作るための取り組みであり、当社としても事業の選択と集中を進められるものと考えております。

今後もグループ内の状況を鑑み、実施を検討してまいります。いずれもお知らせできる内容がありましたら、適切なタイミングで開示させていただきます。

1. 2025年第3四半期 決算サマリ

2. 成長戦略・各分野の進捗と施策

3. 株主還元について

4. 参考資料

38

つづいて、株主還元についてご説明させていただきます。

一株当たり
四半期純利益

5.84円

×

配当性向

100%[※] (65% + 35%)
(基本配当性向) (記念配当)

＝

Q3配当

5.84円

※自己株式の控除調整実施前の配当性向となります

※記念配当は2025年－2026年の2年間を予定しております

2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

39

こちらが今四半期の配当の状況です。
本年度から四半期配当を実施するとともに、プライム市場への変更による記念配当により、
基本配当性向65%、記念配当性向35%、合計して配当性向100%での配当を2年間行います。

よって、1株当たりの四半期純利益、5.84円を100%配当させていただきます。

通期配当予想

18.2円

	2025年Q1	2025年Q2	2025年Q3	当期配当累計	通期進捗
1株あたり 配当	4.61円	4.17円	5.84円	14.62円	80.3%

2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

40

これまでの配当実績については、
第1四半期には1株あたり4.61円、第2四半期では4.17円を配当としてお支払いいたしました。

第3四半期の配当により、これまでの配当累計額は14.62円、
通期配当予想である18.2円に対する進捗は80.3%となります。

- ▶ 既存事業・新規事業ともに堅調
通期業績予想に対する進捗は想定通り
- ▶ GPUクラウド事業は単月黒字化
- ▶ 広告事業の組織再編は一定の成果
シナジー発揮への取り組みを継続
- ▶ 四半期配当実施・配当性向100%

2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

41

最後に、本日のポイントについて改めてまとめます。

まず足元の状況として、
第3四半期の業績は既存・新規事業双方堅調に推移し、
通期業績予想に対しては、想定通りの進捗となっています。

業績面にも寄与していますが、
GPUクラウド事業は投資先行期間を経て単月黒字化し、
フル稼働に向け営業活動を着々と進めております。

広告事業の組織再編については、
当四半期で一定の成果を出したものと考えており、
ストック事業への転換など、シナジー発揮に向けた取り組みを今後継続してまいります。

配当については四半期配当の実施と、2年間の100%配当を継続しております。

すべての人にインターネット

GMO

2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

42

ご説明は以上でございます。
ご清聴、誠にありがとうございました。
すべての人にインターネット

1. 2025年第3四半期 決算サマリ

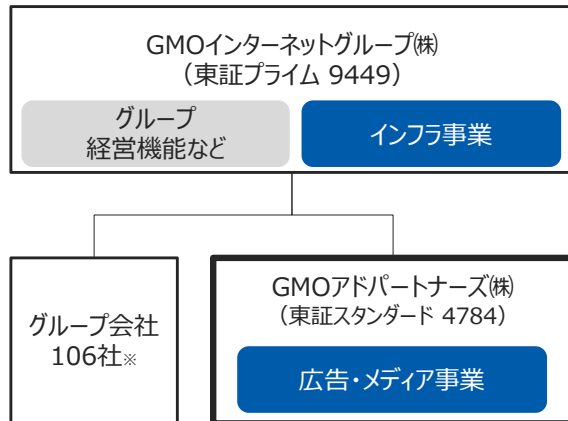
2. 成長戦略・各分野の進捗と施策

3. 株主還元について

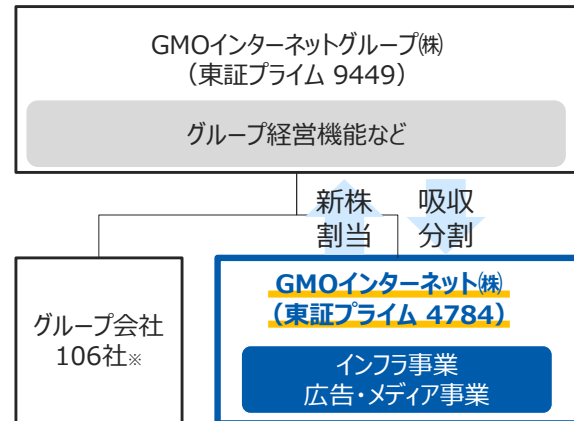
4. 参考資料

**GMOインターネットグループ[㈱]の事業を、GMOアドパートナーズ[㈱]へ承継し、
GMOインターネット[㈱]に社名変更。GMOインターネットグループ[㈱]は持株会社化。**

～2024.12.31



2025.1.1～



※2024年12月時点

2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

44

パートナー (社員) 数

国内 : 1,103名 海外 : 954名 (2025年9月時点)

拠点

東京・大阪・宮崎・北九州・仙台・沖縄
タイ・ベトナム・フィリピン・モンゴル・ミャンマー・ラオス

2024年 売上高

740億円 (概算)

連結グループ会社

GMO NIKKO GMO INSIGHT Z.com 海外9社

企業サイトURL

<https://internet.gmo/>

代表者

代表取締役社長 伊藤 正 代表取締役副社長 橋口 誠

インターネットインフラ事業

ドメイン事業

個人・法人顧客に対し、ウェブサイトの住所に
当たるドメインの登録・販売（レジストラ）
サービスを提供



クラウド・レンタルサーバー （ホスティング）事業

個人・法人顧客がオンラインビジネスや情報発
信を行う環境として、インターネットのインフラ
（サーバー）を提供

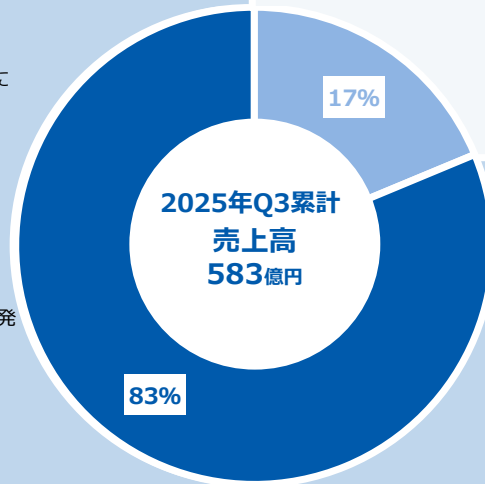


インターネット広告・メディア事業

Webマーケティングソリューションの提供
自社運営のオンラインメディアを展開

インターネット接続 （プロバイダー）事業

1995年の創業以来、個人・法人顧客に対して
信頼性の高い光回線・モバイル回線による
インターネット接続サービスを提供



2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

無くならない、無くてはならない
かつ
継続課金の商材



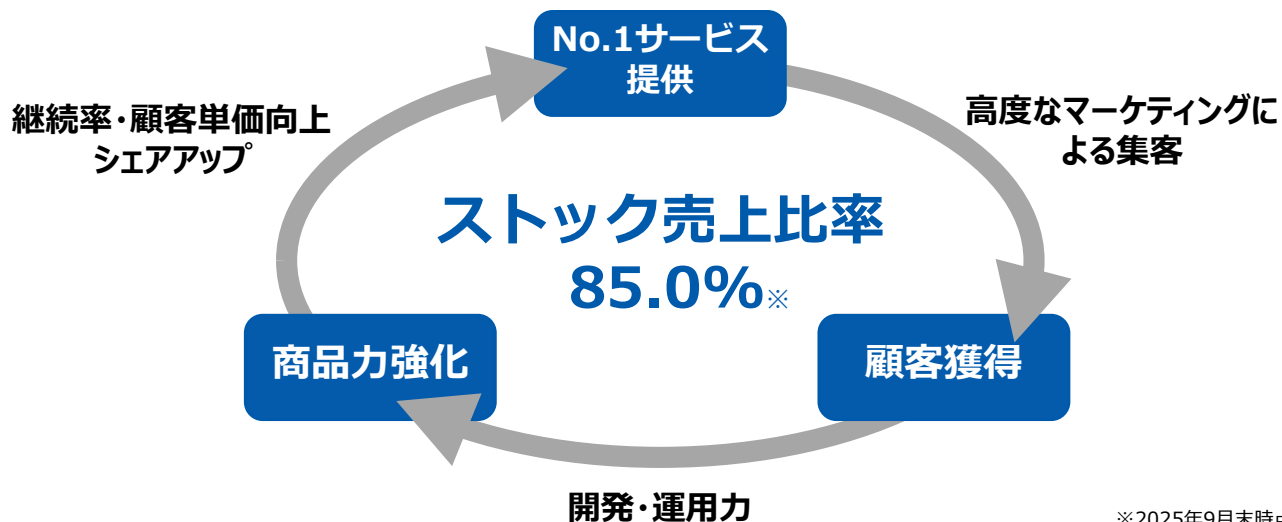
契約件数 **951**万件 ※

※2025年9月末時点 国内件数

2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

47

No.1サービスの提供およびマーケティング力の強化により顧客開拓・獲得の加速を目指す
経験豊富なエンジニアの開発力を活用し、高品質なサービスの提供や満足度・継続率の向上を目指す



2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

48

世界のGPUクラウド事業者の国際評価「ClusterMAX™2.0」 国内初の「Silver」評価を獲得



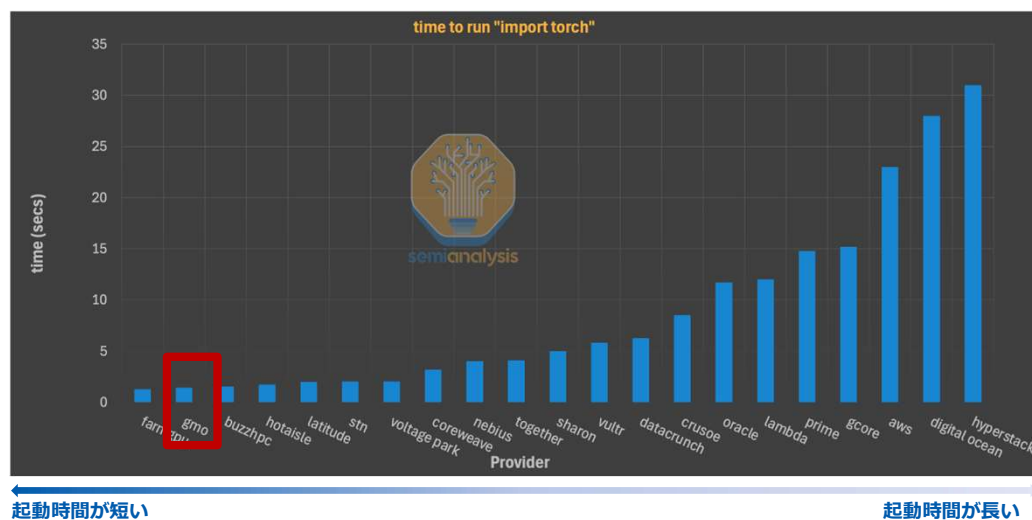
出典：<https://newsletter.semianalysis.com/p/clustermax-20-the-industry-standard>

AWS、Google Cloudに並び、国際評価を獲得

SemiAnalysis GPU Cloud ClusterMAX™ Rating November 2025	
Ranking	Neocloud
PLATINUM SemiAnalysis	CoreWeave
GOLD SemiAnalysis	NEBIUS Azure Crusoe FluidStack
SILVER SemiAnalysis	together.ai Lambda Google Cloud AWS Scaleway Cirrascale VULTR VOLTAGE PARK GCORE firmus GMO GPUクラウド TENSORWAVE
BRONZE SemiAnalysis	Hyperstack Shadeform neysa STN GMI RunPod Atlas Cloud PRIME Intellect CUDO QUBRID latitude.sh Lightning verda IBM Cloud DigitalOcean HOT AISLE BUZZ HPC vast.ai
Not Recommended	Underperforming SHARON HYDRA FarmGPU WHITEFIBER deepinfra dstack PoleBlueDot AI Hyperbolic GPU.NET Almanet HETZNER CLOREAI Massed Compute Exabits SESTERCE EZE Cloud OVHcloud Aethir akash salad MITHRIL
	Unavailable NSCRL CORE42 HUMAIN CORTEX Highrise BluSky AI ARC COMPUTE TELUS telnor METRICAL firebird Alibaba Cloud MEGA-SPEED BITDEFENDER RunSan Cloud FPT CLOUD backend NAVER indosat SAKURA TOTTA neevcloud EVROC greencloud

2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

PyTorchライブラリの起動時間は最短クラス



PyTorch : AI開発で世界標準のソフトウェアライブラリ。その起動時間は開発者の作業効率を示す重要な指標

出典 : https://substack-post-media.s3.amazonaws.com/public/images/478e9e22-7b9d-4259-bc7c-0e50cb208fce_2678x1212.png

2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

51

技術面、サポート・顧客満足度、信頼性で高評価



1. 日本市場で需要の高いSlurmなどの
HPC技術分野における強み
2. 「Strong Support」として、技術支援、
運用支援の両面で高い顧客満足度を実現
3. Turing社やAIoAなどの導入事例など、
産業・研究両分野での信頼性と実績

出典：<https://newsletter.semianalysis.com/p/clustermax-20-the-industry-standard>

(単位：百万円)

流動資産		流動負債	
現預金	12,014	短期借入金・1年以内返済長期借入	1,381
受取手形、売掛金及び契約資産	11,626	未払金	6,067
前払費用	6,075	買掛金	3,135
その他	3,145	契約負債	10,440
流動資産合計	32,861	その他	7,733
固定資産		流動負債合計	
工具器具備品	5,994	固定負債	28,758
リース資産	3,020	長期借入金	4,467
その他	1,088	リース債務(長期)	2,525
有形固定資産合計	10,103	その他	400
のれん	1,515	固定負債合計	7,392
ソフトウェア	1,857	負債合計	36,151
その他	672		
無形固定資産合計	4,044	株主資本	
投資有価証券	1,026	資本金	500
繰延税金資産	1,320	資本剰余金	9,660
その他	696	利益剰余金	3,373
投資その他の資産合計	3,044	自己株式	-179
固定資産合計	17,192	株主資本合計	13,355
		その他の包括利益累計額	319
		自己資本合計	13,674
		新株予約権	153
		非支配株主持分	75
		純資産合計	13,903
資産合計	50,054	負債純資産合計	50,054

・ 前四半期と比較して大きな変動なし

・ のれん：Z.com海外インフラ事業分
借入金：主にGPUクラウド投資によるもの
リース債務：GPUクラウド投資によるもの

2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

53

Q : GMOインターネットグループ（9449）による株式売却状況について

A:

- ・2025年7月29日および10月29日にGMOインターネットグループ株式会社（以下、GMO-IG）より 開示がありましたとおり、GMO-IGでは、当社株式の売却を市場への影響を鑑みつつ適宜実施しているものと認識しています。
- ・当社の流通株式比率の改善に向けた取り組みと認識をしており、いわゆる株式の売り出しや増資とは異なり発行体側は関与しないためこれらの売却に関し、当社では詳細を把握しておりません。
当社は流通株式比率の改善はプライム上場維持に向けた重要な課題と認識しており、引き続きGMOインターネットグループ株式会社と連携のうえ改善につとめてまいります。

Q : 仲間づくり（M&A）について、足元の進捗状況は

A:

- ・既存事業のシェア拡大・ストック型商品の強化に向けては、継続的に対象会社へのコンタクトなど、ソーシング活動を実施しています。それぞれの詳細については、検討中の段階においてはどうしてもお伝えすることが難しいものではありますが、経営陣も積極的に関与しつつ検討を継続しています。
- ・一方で、流通株式比率の基準達成・プライム市場への上場維持を当社は最優先の課題と位置づけており、売出しの実施といった局面においては、適切なインサイダー情報のコントロールが要求されます。
- ・こうした状況を鑑みつつ、仲間づくり案件の実施に関しては、慎重さとスピード感を両立できるよう、適切に検討を進めてまいります。

Q : 5月26日の売り出し中止の開示について、背景と今後の方針は

A:

- ・当社は5月14日に「上場維持基準の充足を目指した株式の売出しに関するお知らせ」の開示を行ったのち、5月26日に「市場動向を鑑みた株式の売出しの中止に関するお知らせ」の開示を行いました。当社の株価変動や足元の市場動向を鑑み、当社株主の皆さまにとっての最適な条件を図る観点から慎重に検討した結果、5月26日時点での売出し実施は適切ではないと判断し、同日開催の取締役会において本売出しの中止を決議したものととなります。
- ・東京証券取引所プライム市場への上場維持に関しましては、これまでお伝えしている「プライム市場への上場維持は当社にとって重要である」という認識に変更はございません。引き続き、親会社であるGMOインターネットグループほか関係各所と協議を継続し、流通株式比率改善に向けた取り組みを検討してまいります。








	変更前 (～2024)	変更後 (2025～)
基本配当性向	50%	65%
記念配当性向 (2025-2026)	-	35%
総配当性向 (2025-2026)	50%	100%
配当回数	年1回	四半期配当
株主優待	<ul style="list-style-type: none"> ・ GMOクリック証券 売買手数料のキャッシュバック ・ GMOクリック証券 当社株式買付手数料のキャッシュバック (上限1万円) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ GMOクリック証券 当社株式買付手数料相当額 (株式買付代金×0.03%) (小数点以下切り上げ) に相当する ビットコイン付与 (上限1万円)

※1：配当性向の向上に伴い、GMOクリック証券における売買手数料のキャッシュバックは廃止となりました。

※2：GMOクリック証券において2025/9/1より株式取引手数料が無料となることに伴い、当社株式買付手数料に関するキャッシュバックを下線部の通り見直しました。

2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

57

セグメント	サブセグメント	内訳
インターネット インフラ事業	ドメイン・ レンタルサーバー事業	  
	インターネット接続事業	 
	インターネットインフラ事業 その他	海外事業 インフラ事業 共通費等
インターネット広告 ・メディア事業	インターネット広告 ・メディア事業	 
	インターネット広告 ・メディア事業 その他	広告事業 共通費等
その他及び連結消去		全社共通費等 連結消去

- ・決算短信においては、セグメント別の売上・営業利益を開示しております。
- ・当決算説明資料における区分は、決算短信のセグメントに関し内訳を詳細にご説明できるようサブセグメントを設けております。
- ・各セグメント内におけるサブセグメントの合算値がセグメントの値と同一となるよう区分をしております。

2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

結論：特段の影響なし

サブセグメント	影響
ドメイン・レンタルサーバー事業	影響なし：サーバー部材調達価格（当社ではなく、仕入先への影響） 半導体などは現状対象外も、状況について注視
インターネット接続事業	影響なし：原則、国内仕入れ
インターネット広告・メディア事業	影響なし：原則、国内仕入れ＆物理的な調達物なし
その他	為替リスク：為替予約等によるリスク管理を実施

【取締役】



取締役会長
熊谷 正寿



代表取締役
社長執行役員
伊藤 正



代表取締役
副社長執行役員
橋口 誠



取締役
安田 昌史

【監査等委員である取締役】



取締役監査等役員
岩濱 みゆき



取締役監査等役員
杉野 知包



取締役監査等役員
鮎川 拓弥

2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

【執行役員】



副社長執行役員

山下 浩史



常務執行役員

林 泰生



常務執行役員

児玉 公宏



執行役員

菅谷 俊彦



執行役員

佐久間 勇



執行役員

徳永 伸一郎



執行役員

齋藤 稔



執行役員

牧田 哲

2025年1月1日より、GMOアドパートナーズ株式会社はGMOインターネット株式会社に社名変更しました。

本資料取扱い上のご注意

本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2025年11月13日現在のデータに基づいて作成されております。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

本資料に引用しております各社商標、著作物等知的財産権、並びに肖像権その他一切の権利は、当該知的財産権を有する各権利者並びにその権利の主体に帰属します。

GMOINTERNET